

# つばやき・プチ歴史 (れきし)

こくさいこうりゅう

## 国際交流センターからのつばやき

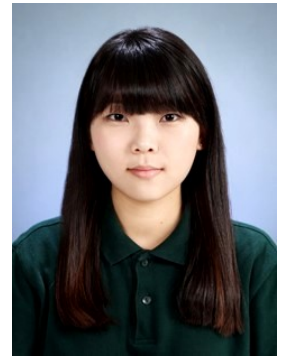
しよくいん  
職員のつばやき



きゅうかん よぎ たいしんさい ねん た しょういんいちどう  
休館を余儀なくされたあの震災から1年が経とうとしています。職員一同  
アイデアを出し合い、震災前にも増して多くの方にセンターを利用していただこう  
と頑張っています。今日は、どようサロンの日、ロビーがとてもにぎやかです。日本人  
も外国人も皆さんにこやかに交流を楽しんでいる様子です。こんな何気ない  
穏やかな風景が広がり続いていってほしいと思います。

みとしざいじゅう がいこくじん  
水戸市在住 外国人のつばやき/グオン・ユジンさん <韓国出身>

こんにちは！私は韓国から来たグオン・ユジンと申します。留学生活が始まってから、今年で2回目のお正月を迎えました。日本でお正月にお雑煮を食べるように、韓国でも「トックグ」という餅が入ったスープを食べます。お正月に餅を食べる文化が同じであることがわかり、日本と韓国はやはり似た文化が多いことが改めてわかりました。これからも両国の似たような文化を探しお互い共有したいと思います^^



## 水戸の歴史 ~ 桜田門外の変 ~

今回は、「桜田門外の変」の詳しい内容です。2月号で、江戸時代の終わり頃に開国を進めた大老の井伊直弼が、開国に反対した水戸藩の浪士などに討たれたことについて話しましたね。これが起きたのは、江戸の城で弥生の節句(ひな祭り)のお祝いを予定していた1860年3月3日。毎年この日には、井伊直弼などの大名がお祝いでお城へ行く決まりになっていました。江戸城の桜田門の外で井伊直弼を襲撃したのは、関鉄之介など水戸脱藩(水戸藩をやめた)浪士ら18名。銃の音を合図に、見物客の格好をしていた水戸脱藩浪士らが、一斉に駕籠(井伊直弼が乗っていた乗り物)をめぐらして突進しました。井伊直弼には約60人が付き添っていたと言われますが、みな不意を打たれ\*、すべての刀に柄袋(雨や雪の日に刀を覆う袋)をつけていたので反撃できませんでした。このようにして、井伊直弼は暗殺されたのです。

こうえきざいだんほうじん  
公益財団法人 水戸市国際交流協会

かようび にちようび  
火曜日～日曜日 9am - 9pm

やす げつよう しゆくじつ  
(休み: 月曜・祝日)

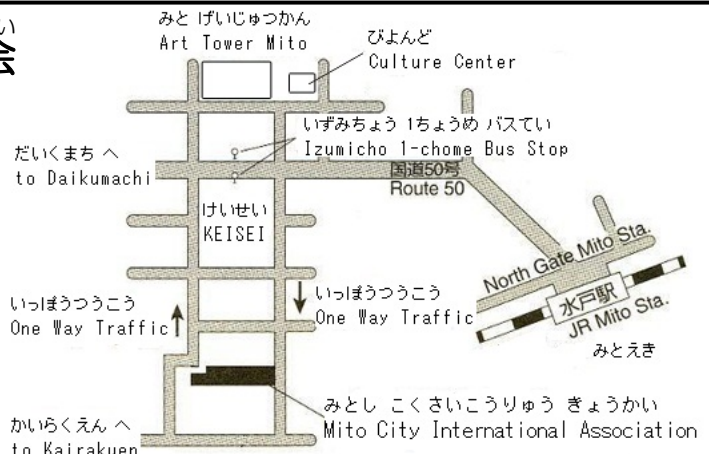
add. 〒310-0024 水戸市 備前町 6-59

tel. 029-221-1800 fax. 029-221-5793

mail mcia@mito.ne.jp

HP http://www.mitoic.or.jp

いけん ようぼう ま  
ご意見・ご要望、待っています！



ふい う とうげき おも  
不意を打たれる\* = 攻撃されると思っていなかった時に、突然、攻撃される。



# Culture Pot MITO

## CONTENTS

- 【イベント】 つくばさんうめ なつとう はやく たいかい こうどうかん  
筑波山梅まつり/ 納豆の早食い大会/ 弘道館のイベント/  
みと うめ こんげつ みと  
水戸の梅まつり/ 今月の「どようサロン」/ 水戸バーバルバール
- 【せいかつ】 けんこうほけん にほんごきょうしつ はるやす みとしやくしょ  
健康保険について/ 日本語教室の春休み/ 水戸市役所について/  
げんご がいこくじんそうだん  
8言語でのメールサービス & 外国人相談
- 【とくしゅう】 がいこくじんとうろくせいど あたら みと す ひと  
外国人登録制度がなくなります/ 新しく水戸に住む人へ
- 【その他】 しょくいん  
職員のつぶやき  
みとしざいじゅう がいこくじん  
水戸市在住外国人のつぶやき  
みと す れきし  
水戸がもっと好きになる♪プチ歴史

▼写真： しゃしん しょうがくせい ぼこく おし  
小学生に母国のことを教える ゲストティーチャー(guest teacher)



みとしこくさいこうりゅうきょうかい  
水戸市国際交流協会では、水戸市に住む 外国人の方にわかりやすい 生活情報をとどけるため、毎月、生活情報紙「Culture Pot Mito」を作っています。

「Culture Pot Mito」は、水戸市をひとつの pot (つぼ) に例えて、その中にたくさんの culture(文化)が入っているような、多文化共生の社会をイメージした言葉です。この情報紙が、みなさんの生活で役に立ち、水戸市をもっと好きになるきっかけになることを願っています。

※ 多文化共生の社会 = たぶんかきょうせい しゃかい くに ことば ぶんか ひと  
国・言葉・文化のちがう人たちがみんなが住みやすい社会